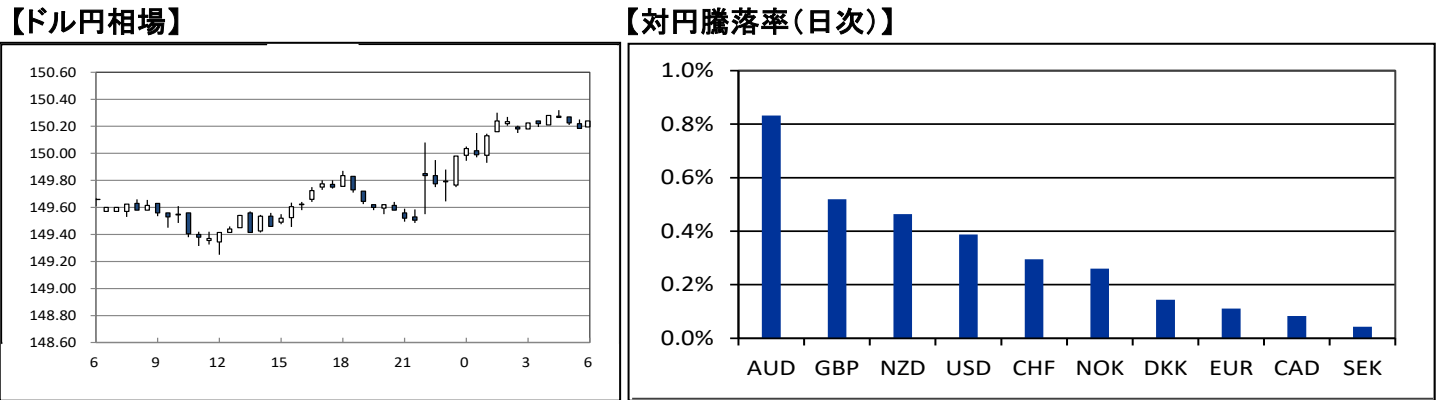


	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	149.64
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	149.56	1.0858	162.33	1.2991	0.6665
SYD-NY High	150.32	1.0874	162.75	1.3023	0.6710
SYD-NY Low	149.25	1.0811	161.85	1.2975	0.6660
NY 5:00 PM	150.24	1.0831	162.71	1.3011	0.6696
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	43,239.05	161.35	日本2年債	0.4300%	0.0100%
NASDAQ	18,373.61	6.53	日本10年債	0.9600%	0.0100%
S&P	5,841.47	▲ 1.00	米国2年債	3.9751%	0.0343%
日経平均	38,911.19	▲ 269.11	米国5年債	3.9032%	0.0584%
TOPIX	2,687.83	▲ 2.83	米国10年債	4.0935%	0.0764%
シカゴ日経先物	39,305.00	▲ 255.00	独10年債	2.2010%	0.0250%
ロンドンFT	8,385.13	56.06	英10年債	4.0885%	0.0250%
DAX	19,583.39	150.58	豪10年債	4.2380%	0.0280%
ハンセン指数	20,079.10	▲ 207.75	USDJPY 1M Vol	11.56%	▲0.19%
上海総合	3,169.38	▲ 33.56	USDJPY 3M Vol	10.91%	0.10%
NY金	2,707.50	16.20	USDJPY 6M Vol	10.66%	0.13%
WTI	70.67	0.28	USDJPY 1M 25RR	▲0.75%	Yen Call Over
CRB指数	281.71	▲ 0.05	EURJPY 3M Vol	9.92%	0.07%
ドルインデックス	103.83	0.23	EURJPY 6M Vol	9.96%	0.10%

東京	東京時間ドル/円は149.56レベルでオープン。日経平均株価が下げに転じたほか、中国当局が打ち出した不動産支援策が市場の期待に届かなかったことで中国株が下落する展開に、ドル円相場も一時149.25まで下押した。ただ、一巡後は海外時間に米小売売上高の発表を控えて買い戻され、149.63まで上昇。結局、149.60レベルで欧州に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、149.60レベルでオープン。全般に方向感のない展開で149.53レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0854レベルでオープン。午後にECB政策決定を控え方向感なく推移し1.0863レベルでNYに渡った。なお本日トルコ中銀が1週間レボ金利を予想通り50.00%で据え置いた。通貨リラの反応は限定的だった。
ニューヨーク	海外市場のドル円は149円台半ばでスタート。アジア株が軒並みに軟調な展開を受け、149.40付近を挟んだ上値重い推移が続く。その後は米金利の上昇を受け、149.87まで上昇するも、その後失速し、149.53レベルでNYオープン。朝方に発表された米9月小売売上高(前月比)が予想を上回った事や、米新規失業保険申請件数も予想より良好だった事が好感され、発表後はドル買いが優勢となり、150円台に乗せ、150.10付近まで上昇。午後は米長期金利が高水準で推移する展開が支えとなり、150.32まで上値を伸ばす。その後は小幅反落し、150.24レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.08台半ばでスタート。ECB会合の結果発表を控え、1.0860付近で様子見姿勢が広がり、1.0863レベルでNYオープン。朝方はECBが25bpsの利下げを発表し、主要政策金利を従来の3.50%から3.25%へ引き下げた。発表後は市場の事前通りだったためか、特段大きな反応は見られず。しかし、直後に発表された予想より強い米小売売上高の結果を受け、1.0811まで下落。続いて行われたラガルドECB総裁の記者会見で、インフレ見通しを巡り「おそらく、下振れリスクの方が上振れリスクよりも大きい」との認識を示した事を受け、軟調な推移となり、1.0811まで下落。午後は売り一巡となり、1.0830付近まで小幅反発し、1.0831レベルでクロス。

【昨日の指標等】					
Date	Time	Event	結果	予想	
10月17日	08:50	日 貿易収支	9月	-¥294.3b	-¥316.0b
	09:30	豪 雇用者数変化	9月	64.1k	25.0k
	09:30	豪 失業率	9月	4.1%	4.2%
	18:00	欧 CPI(前年比/前月比)・確報	9月	1.7%/-0.1%	1.8%/-0.1%
	21:15	欧 ECB預金ファシリティ・レート	17-Oct	3.25%	3.25%
	21:15	欧 ECB主要政策金利	17-Oct	3.4%	3.4%
	21:30	米 小売売上高(前月比)	9月	0.4%	0.3%
	21:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	9月	0.5%	0.1%
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況	10月	10.3	3
	21:30	米 新規失業保険申請件数	12-Oct	241k	259k
	21:45	欧 ラガルドECB総裁 会見		「インフレ率は2025年に目標値まで低下へ」	
【本日の予定】					
Date	Time	Event	予想	前回	
10月18日	08:30	日 全国CPI/コアCPI/コアコアCPI	9月	2.5%/2.3%/2%	3%/2.8%/2%
	11:00	中 GDP(前年比)	3Q	4.5%	4.7%
	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	9月	4.6%	4.5%
	11:00	中 小売売上高(前年比)	9月	2.5%	2.1%
	15:00	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	9月	-0.3%/3.1%	1.1%/2.3%
	21:30	米 住宅着工件数	9月	1350k	1356k
	21:30	米 建設許可件数	9月	1460k	1470k
	21:30	米 住宅着工件数(前月比)	9月	-0.4%	9.6%
	21:30	米 住宅建設許可(前月比)	9月	-0.7%	4.6%
	22:30	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-	-
	23:00	米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-	-



【予想レンジ】			
通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	149.50-151.00	1.0750-1.0900	161.50-163.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は150円台前半まで上昇。米9月小売売上高や米新規失業保険申請件数が市場予想対比で良好な結果となったことや、ラガルドECB総裁のインフレは下振れするリスクが大きいとの発言を受けドル買いが強まると150.32まで上値を伸ばした。本日のドル円は高値圏での推移が継続すると予想する。先週発表された米インフレ指標に続き米個人消費に関する指標も強かったことを受け、今後発表される雇用指標やGDPの結果次第では11月の利下げスキップを織り込む動きが想定される。雇用指標に関してはハリケーンやストライキの影響が想定されるものの、過去のFRBの政策運営を鑑みると、ハリケーンの影響は度外視しておりその点は考慮すべきだろう。ランプ再任が再び意識されていることもドル円のサポート材料となり、151円を目指す動きが優勢となると予想する。